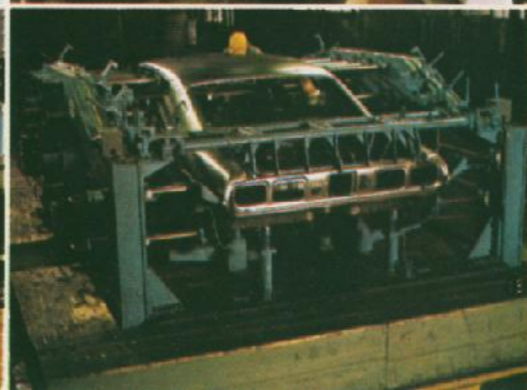


①いつまでも快調にお乗りいただくための連続高速耐久性テスト②すべりやすい路面での安全を確保するスキッドテスト③見えやすさのための視界の分析④疲れにくい運転席づくりの検討⑤⑥風速20メートルを出せる横風送風装置とその実験風景⑦公害対策のために排気ガスをこまかく分析⑧静かな車のために無響室による雑音分析⑨レーダーセンサーとコンピュータを用いたエアバッグシステムの実験



⑩新技術のためのレーザー光線研究⑪⑫万一のときのための実験。高速度撮影したフィルムを特殊な装置でこまかく分析⑬車全体の寸法を一度に高速度に測定⑭効率よい燃焼のための新しい方法の研究⑮自動車用ガスタービンの研究開発⑯ステアリング、足まわりなどの改良のための実験⑰寒冷地でも常に安定した作動をさせるための低温実験⑱電気火花を発生させ、エンジン内の空気流を測定



なによりもまず、**安心してお乗りいただける車**を：

車が便利なのは、すでにご存知のことでしょう。ところが、使用方法や管理の仕方が悪いために、車のマイナス面が強調されてしまっているようです。

そこでトヨタは考えました。より安全な車を、より公害のない車をより快適な車を…つくろうではないか…と。

トヨタは、いろいろと実験しています。あなたご覧になったら、無駄だ…と思われるところまでやっています。

安全には3つの対策が考えられます
安全といえば、すぐ事故を思いうかべられるでしょうが、安全対策には、事故を起こさないためのもの、事故のときのもの、事故のあとのものが考えられます。

アメリカの自動車メーカーは、ほとんどが事故のときと、事故のあとの対策に中心をおいています。しかし、トヨタは事故を起こさないことが最良の安全対策だと考えています。ですから、まず乗りやすい、疲れなことを車の設計の中心にしているのです。

もちろん、万一のときの対策にもきびしく取り組んでいます。そのひとつの成果として、トラブル発生寸前に、レーダーセンサーとコンピュータにより障害物を検知し乗っている人を保護するトヨタ独自のエアバッグシステムの実験に成功しています。